



長い夏休み期間中保護者や地域の皆様が子どもたちを見守りご指導いただいたおかげで、大きなけがや事故もなくみんなが二学期を迎えることができました。本当にありがとうございました。

登校してくる子どもたちを玄関で迎えていますと、一回りたくましくなったように感じました。子どもたちに夏休み体験を報告してもらうのが大変楽しみです。

ところで、今年の夏休みには、ロンドンオリンピックという大きな行事がありました。時差が8時間ということで眠気を我慢しながらの観戦でしたが、いろいろな種目に挑戦する選手たちの姿に感動の連続でした。

苦しい練習に耐え自分の限界に挑戦する熱意と、メダリストになるという大きな目標に向かう真摯な姿が、勇気と感動を与えてくれました。

とりわけ、体操団体や水泳団体、サッカーやバレーボールなどの団体競技の選手たちが、汗や涙を流した末に抱き合っただけの喜びは、チーム・スポーツならではの感動的な光景でした。

皆が一致団結し、一つの目標に取り組むためには、お互いの信頼と協力が不可欠です。メンバーがお互い信じ合い、多少の無理をしても相手のために尽す姿勢は快いものです。

この夏のオリンピック観戦から、学校生活にも通じる生きた教材を得たと考えます。

そこで子どもたちには、もっと知りたい、上手になりたいという目標を持つことの大切さ、そして目標に向かって全力で取り組むことの大切さ、そして、学校はひとりではなくみんなで学び生活するところ「チーム葛城」であるということ、その場でみんなで学びみんなで生活することによって、お互いの信頼関係が生まれ、一人ひとりの個性が磨かれ発揮できるのだということを改めて教え、支援していききたいと思います。

さあ、二学期の始まりです。

## 平和登校日

8月6日に平和登校を実施しました。8時15分原爆投下時刻に合わせ全員で黙とうをささげた後、6年生の子どもたちが、被爆し傷ついたアオギリから2世が誕生し、平和の尊さを訴え続けているという話を読み聞かせてくれました。

そのあと、高学年は地域の方々から、戦争体験を語っていただき、中低学年はDVDを見て戦争の悲惨さと平和の尊さを考えました。

どんなに時が経ようとも戦争の悲惨さ平和の尊さを、後世に伝えていくのが我々の責務です。そのためにも平和学習をきっちりと進めていかなければと考えています。



—子どもたちの感想文の抜粋です—

今、日本は戦争をしていません。でもほかの国ではやっているところがあります。しんちゃんやきみちゃんみたいに命を奪われる所もあります。私はそういうことが日本で起こりませんように願っています。(4年生)

地域の人の話を聞いて、戦争はとても大変だったんだなあと思いました。食べ物がなく校庭でサツマイモを育てて食べていたと聞きびっくりしました。空から爆弾が落ちてきてとてもびっくりしたと思います。戦争を経験した人たちが今もがんばっていきっているのはすごいと思います。戦争はこれからも絶対にやってはいけないと改めて思いました。(6年生)

## P T Aバレーボール大会

7月22日(日)に第37回貝塚市P T A協議会親睦バレーボール大会が行われました。

葛城小学校チームは、北小学校、第一中学校チームと対戦しました。おしくも勝ち進むことはできませんでしたが、お父さんや子どもたちの声援を受け、お母さんたちは持てる力を出し尽くしプレーしました。さわやかな笑顔がいっぱいのすばらしいチームでした。来年はより一層の活躍を期待します。



## 5年宿泊学習

7月31日から2日間、5年生の子どもたちは宿泊学習として、淡輪の青少年海洋センターに行ってきました。

到着後すぐに、石ころに思い思いの絵を描く石ころアートをした後、お待ちかねのいかだ体験、タイヤチューブで角材を固定し、いかだを完成、早速みんなで掛け声を合わせオールをさばき、海にこぎだしました。

夜には、予定通りキャンプファイヤーも実施し、親元を離れ友達同士で過ごす貴重な体験をしてきました。本当に充実した2日間でした。



## 元気！かつらぎ農園

6月に5年生と地域の方が一緒に植えた稲が元気に育っています。田植えの後、地域の方々に見守りをいただき、その時々にはいろいろとご指導をいただいています。その甲斐もあって青々とした稲が風にそよぎ中にはようやく稲穂が付き始めたのも見受けられるようになってきました。

またとなりの1・2年生と葛城幼稚園・葛城保育所の子どもたちが一緒に植えたサツマイモ畑では、蔓が一面に地面を覆い、秋の収穫を期待させてくれています。

夏休み期間中には、教職員が全員で、田と畑の草取りと薬剤散布作業を行いました。

